

なんかい

NANKAI
vol. 121
2021.2

南海寮 広報委員会
熊本県天草市本町下河内1685番地の1
TEL 0969-23-3850
FAX 0969-22-4977
Mail keiyukai@cup.ocn.ne.jp
URL http://www.nankaiyou.or.jp/

副施設長 松浦光毅

コロナ禍における判断と対応

「今年はサンタさん来んとね？」クリスマスが間近に迫った昨年12月上旬、女性利用者のMさんが今にも泣きそうな顔で職員に尋ねて来られました。一瞬間を置いて「…サンタさんに来てもらえるようお願いしておきますね。」職員がそう答えると、Mさんは大声で泣き出しました。Mさんからすれば「サンタさんが来るんだ」という明確な答えが欲しかったのだと思われまます。慌てて別の職員がサンタの格好をしてMさんにプレゼントを渡そうとしましたが、急ごしらえの変装はすぐに職員と見破られ「違うもん！」と火に油を注ぐ結果となってしまいました。

南海寮では、毎年12月にクリスマス会と忘年会、餅つきを兼ねた恒例行事を行っています。例年、地元警察署にもボランティアとしてご協力をいただき、サンタに扮した若手署員の皆さんから利用者の皆さんにプレゼントを頂いています。しかし、今回は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、ボランティア等の受け入れは行わず、利用者さんと職員のみで実施しました。12月上旬の時点では、Mさんが望まれる「サンタさん」は来ない計画であったため、職員も対応に困ったようです。

らクリスマス会を開催しました。その際、トナカイとサンタに変装した職員から利用者1人ひとりにケーキが配られました。もちろん前回の反省を踏まえての変装です。Mさんにもようやく笑顔がみられ、職員も安堵していました。「サンタさん」という毎年あるはずのものが、コロナ禍によってなくなった事に對する、職員のちょっとした配慮と一手間が垣間見えた瞬間でした。

クリスマス会や忘年会に限らず、昨年は多くの諸活動について縮小や中止、変更を余儀なくされました。面会や帰省、在宅利用者の利用等についても、様々な要請や制限をお願いしている状況です。しかしこれらの対応や判断については、漠然とした不安によるものや、過剰防衛にならないよう留意しています。政府や専門機関から出されている基準や統計、客観的な事実と根拠に基づく判断を行うよう常に心掛けています。併せて利用者の健康や生命、安心と安全が脅かされることのない事を前提に、あらゆる権利侵害や合理的配慮の否定がないかも常にリスクと天秤に量りながら判断しています。



サンタクロースとトナカイに変装した職員（トナカイはバレてます笑）



コロナの終息を願って、利用者さんが製作した「アマビエ」の貼り絵

染リスク)だけを考えるのではなく、実施しなかった時のリスクも考えて欲しいからです。すなわち、これまで当たり前に行ってきたサービスが提供できなくなることで、利用者さんの生活やサービスの質が低下してしまうリスクも併せて考慮してもらいたいです。過剰防衛によって、始めから「できない・やらない」を前提とすれば何の変化も、創意工夫も生じません。「どうすればできるか」という視点に立ってはじめて代替案や、既存のものに変わる新たな方法が見えてくるのです。

限を強いられている状況です。コロナが国内で発生してから1年余りが経過しましたが、当たり前のことが当たり前に行っていない状況は変わっていません。未だ収束の目処がたらず、私たちの生活や社会に大きな影響を及ぼしています。まさに私たちは大転換を迫られています。リモート会議やオンデマンド研修、オンライン面会など、デジタル化やICT化は、コロナ禍によって図らずも大きな躍進を遂げました。「ニューノーマル」という言葉のとおり、社会の常識や常態も変化しています。しかし私たちの使命や、やるべき事の本質は変わりません。社会や環境の変化に順応しながらも、今の状況の中で最大限できる事を知恵と工夫によって生み出し、より良いサービスの実践と提供に努めていきたいと思えます。利用者の方やご家族・関係者の皆様には今後も引き続きご理解とご協力をお願い致します。本年もよろしくお願い致します。

施設内研修

フォローアップ研修

副主任 金子 史

今回新たな取り組みとして、2〜3年目の職員8人を対象としたフォローアップ研修を行いました。この研修は「コミュニケーションを図る機会とし、チームワークを構築し今後の業務に繋げていく」ことを目的として実施しました。

2部構成とし、第1部はコンセンサス実習を行いました。この研修では自他の違いを受け入れ、組織内で話し合う際に大切なことを知る事、自分の役割や他人のよさに気づくこと、を学ぶために実施しました。研修はグループワークを中心に自分の意見を伝え、他人の意見を受け入れながらコンセンサスを得る為には時には意見の相違もありましたが、話し合いを重ねグループ内での結論を出す事が出来ました。今回の研修は日頃、私たちが行っている利用者支援

においてチームで話し合い、支援内容を決定するプロセスを学ぶことに繋がったのではないかと思います。

第2部は「業務を振り返って」という事に入職して感じた事、新人の時として欲しかった事、今後育成していく立場としてをテーマにグループワークで自由に語りあい発表してもらいました。南海寮では新人の時にはその日の振り返りとして感じた事や疑問等を毎日ノートに書き、先輩職員にアドバイス等を書いてもらうのですが「ノートが大変だったけど振り返りの時間が持て良かった」という意見をはじめ、育成や勤務時間、資格取得についてたくさん意見が出ました。またその意見を踏まえ今後どうするべきか等話し合いを行い研修は終了となりました。

今回の研修を受けた感想の中で、「意見や発言をした事で気が楽になった」「今後とも意見を言い合う場が必要だと思った」等の意見があり、今回の研修は良い機会になったと思えました。現在、コロナの影響で外部研修を受けることが難しい中、私たち自身でできる施設内での研修を通し研鑽を積んでいきたいと思えます。



施設内研修

感染症セミナー

看護師 原田 公子

2020年は、コロナウイルスと言う特徴的なワクチンもない感染症があつという間に蔓延し、予想だになかった未曾有の大混乱を引き起こし、現在も多数の感染者の報道が続いております。当施設においても、利用者の方の外出・外泊・面会など、規制しなくてはならず、ご家族にも不自由な思いを強いている状況です。施設内にコロナを持ち込まない為には、どうしたらいいのか、施設としての対応を検討している日々であります。そんな中、天草地域医療センター感染管理認定看護師の山本さんより、コロナに関しての基礎知識、感染防止対策について、施設内でコロナが発生した場合の対応など詳しく講義して頂きました。講義の内容は、やはりマスクをきちんと着用し、手指消毒など基本的な事が重

要で、他者に広げない対策が必要と話がありました。施設としては、クラスターの発生は絶対にあってはならないと職員一丸となって、感染防止対策をしている所です。強度行動障害のある利用者の方への感染防止対策は難しい状況ではありますが、うがい・手洗い・手指消毒など基本的な感染予防策を職員が付き添いながら毎日行っている所です。もし発生した場合、強度行動障害のある利用者の方の入院は難しい可能性があり、施設内での観察が必要となった場合を想定し、「利用者の方の隔離は？」「必要な物品確保は？」「職員配置は？」など事前にあらゆることを想定し準備をしている所です。

当施設は、入所の方だけではなく、通所されている方や短期入所を利用している方など様々な方が利用されています。利用される時も、感染流行地域等の方との接触はないかなど、細心の注意を払いながら業務

を行っている所です。これから、まだまだ先の見えない状況ではありますが、今回の講義内容を生かし、感染拡大防止に努めていきたいと思えます。皆様も感染予防対策を引き続き行い頑張ってください。





祭 祭 ~秋祭り~ 祭



忘年会 🎁 🦌 🧊
クリスマス 🎅 🌿 🎁



👤 どんとや 👤

支援の現場から

支援内容や取り組み等をご紹介します。

根気強いケアで症状の改善を 〜Tさんへの支援〜

生活支援員 松本昌子

若い頃よりてんかん発作を繰り返され複数の疾患を抱えられていたTさん。入所前は誤嚥性肺炎にて長期に渡り医療機関に入院されていました。それまでは在宅で生活をされていましたが、同居している高齢の母親の負担が大きくなり当施設へ相談され利用開始となりました。今年で入所され3年経過された所です。Tさんを支援していく上で特に介助を必要としている一つに皮膚状態のケアが挙げられます。皮膚移植の既往や長期に渡り皮膚科を受診されておられましたので全身に常に軟膏が必要な状態で清潔保持や環境の整備など配慮する所も多くあります。当施設では看護師免許を所持したスタッフが主となり毎日のシャワーや入浴をはじめとするケアや皮膚状態の観察を行い徐々に改善され今では入所時に悩まされていた褥瘡も治癒できました。内服薬との併用で現在でも軟膏類は欠かせませんし痒み我慢できずに皮膚を掻いてしまわれることも



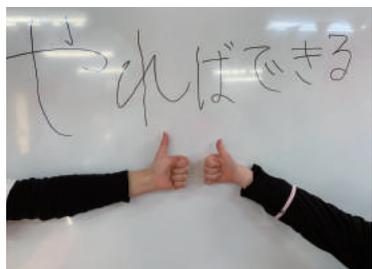
多々あります。一進一退する箇所はありますが今後も根気強く関わっていききたいと思っております。又、食事面においては管理栄養士などに相談をしながら食事形態や皮膚に良い栄養飲料などを勧め、入所されて以降は誤嚥性肺炎になることもなく現在まで経過できています。日中活動としては手先の器用さを活かして、

ちりがみ折りや、趣味で料理本からレシピをノートに書き写したりと好きなことに熱心に取り組まれています。時には南海寮の作業にも参加され、丁寧に取り組んで頂いています。施設に入所はされていますがご家族の面会も定期的であり毎回楽しみにされています。現在は面会が自粛中でなかなか会う機会がありませんが、定期的に電話などを行うなどご家族が活力となられておりますので繋がり大切にしながら支援していきたいと思えます。Tさんをはじめ今後利用者さんに寄り添いながら身体面、精神面でのケアを行い充実した毎日を送る事が出来る様に支援していきたいと思えます。

「やればできる」で一緒に挑戦 〜Hさんへの支援〜

生活支援員 京塚 香菜

Hさんとの出会いは今から2年前。支援学校高等部2年生の現場実習でした。当時は自宅以外で言葉が発することができずに、意思疎通は「はい」か「いいえ」をジェスチャーで伝えられるだけでした。高等部3年生の冬、心境の変化があったようで、自宅以外でも少しずつ言葉が出るようになり、卒業後は当法人のグループホームと日中活動を利用される事になりました。それでも言葉でのコミュニケーションは僅かだった為、できる範囲で聞いていたスマートフォンでのLINEやテレビ電話を、今後のコミュニケーションツールの中に取り入れるか?、LINEでしか気持ちを伝えられなくなってしまったらどうしよう?…等とても悩みましたが、Hさんからの希望もあり、コミュニケーションの手助けとなることを願って活用する事にしました。初めてのLINEが届き、何かあるときはいつでも教えてくださいね。と返信すると自撮りした面白い



写真が送られてきて、こんな事もできるのか!と驚かされ、ついふき出してしまった私。他にも伝えたいことを動画で撮影し送信したり、テレビ電話で画面越しに喋るHさん。LINEへの不安や心配は消え、徐々にコミュニケーション向上に繋がっていったのです。当初は、自宅のように喋れない環境での生活に心配していましたが、徐々に言葉で伝える事に対して自信をもってもらえたのか、グループホームでの会話が増えたり、職員へ話し掛けられる事が増えてきています。色々振り返ると、慣れない環境でなかなか自分で行動する事が難しく、ほぼ毎朝グループホームの様子を見に行った頃を思い出し、私も共に成長させてもらっていると思えました。Hさんが私に教えてくれた言葉「やればできる」をこれからも大切にして、色々なことに一緒に挑戦していきます。あっ、ちなみに歌声記念日がありました!Hさんが好きな「裸の心」という、あいみよんの曲を2人きりの時に歌って下さいました。これからもどんどん〇〇記念日を増やしていきたいです。

通所センターだより

新年おめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。さて今回は12月に行った発表会の様子を紹介したいと思います。通所センターではカラオケやダンス、風船バレーやミニボウリング、魚釣りゲーム、玉入れ等のレクリエーションを行います。それぞれの得意分野を活かし、今回は二班に分かれ発表する事になりました。

音楽班～「エビカニクス」「夢をかなえてドラえもん」紙で作ったパネルやぬいぐるみを持って歌いながら振りました。皆さんノリノリでした。

劇「桃太郎」班～鬼が悪さをする理由はコロナ禍で退屈だから…。桃太郎達は「どうしたの？」と鬼さんに優しく声をかけ、最後はダンスで仲直り「仲良しが1番」と言って終演しました。

コロナ禍で行事が中止となり日常生活でも我慢の日々。いつまで続くのか…。それでも皆さん笑顔で通所してくださっていることに感謝の限りです。これからも楽しい時間を提供できるように取り組んでいきます。

浦上 寛司



アマビエ巨大貼り絵

今号表紙で紹介させていただいたアマビエの貼り絵ですが、1日でも早くコロナの流行が終息するようお願いを込めて、皆さんで協力して貼り絵を行いました。貼り絵は事業所の玄関に展示しています。

編集後記

新型コロナウイルス漬けだった去年の事も忘れ、新しい1年を楽しみたいですが、まだまだ猛威をふるっている状況ですね。前ページでも感染予防研修を紹介していますが、施設内でも基本的な感染予防を継続して行っています。なかなか新型コロナウイルスも収束する目処が立たず、いつまで我慢する生活が続くのだろうと不安になりますね。今現在もステイホームを余儀なくされている状況の為、私がステイホーム期間中だから行えた事を2つ紹介します。まずはトランプ。ババ抜き、大富豪、豚のしっぽなど数種類行いました。久しぶりに行うと楽しいだけではなく、いつもスマホばかり触っている私ですが家族との会話も増えました。次は家の雑巾がけ。いつもは簡単に済ませてしまうのですが、隅々まで行いました。家の廊下を何往復もすると簡単な掃除より達成感が何倍にもなりました。毎日不満に感じながら生活するのではなく、せっかくのステイホームを、楽しく過ごされてみてください！

松下ひかる

南海寮の やさいなえ

野菜苗



4月販売開始予定

- ★ナス(黒陽、千両)
- ★ピーマン(エース)
- ★トマト(桃太郎)
- ★ミニトマト(各種)
- ★カボチャ(エビス)
- ★タカノツメ
- ★キュウリ(シャキット、南進)
- ★オクラ(エメラルド)
- ★シトウ
- ★ニガウリ(太れいし)
- ★スイカ(大玉、小玉)

各種1本70円

お電話での注文随時受け付けております！

【担当：坂本 悠介】

TEL 0969-23-3850 / FAX 0969-22-4977

新任職員紹介



生活支援員
岩下 保雅



生活支援員
石坂 太新



生活支援員
入船 伸枝

- 退職職員…植村りみ子(グループホーム世話人)
- 新規入所利用者…濱崎 晃一様(施設入所・八代市)

南海寮広報委員会

ご高覧頂き、ご意見・ご感想などありましたら keiyukai@cup.ocn.ne.jp までお寄せ下さい。
機関紙「なんかい」はホームページアドレス <http://www.nankairyuu.or.jp/> からご覧になれます。